

新里石などの国本地区の採石場

川村 泰一（宇都宮市文化財調査員）

〇. はじめに

国本地区はJR宇都宮駅から北西に約10km地点にあり、面積約15.4km²で西は鞍掛山を境に日光市（今市）北東は日光街道沿いに発達した徳次郎地区、南は大谷石で知られる城山地区に接している。

地区の北西部丘陵に位置する5集落（新里町甲・乙・丙・丁・岩原町）には古くから石材が産出されており、その歴史は江戸時代に遡り、多くは農閑渡世として始まったと言われる。

石材運搬には、明治32年（1899）に良質な寺沢石（通称：新里石）の運搬を目的として、野州人車鉄道が新里村（芳原）から戸祭間に開通し、さらに、昭和2年（1927）岩原石及び大谷石の運搬を目的に、国本村（岩原）から国鉄鹿沼駅間にガソリンカーが運行された歴史がある。

石材として採石された凝灰岩は、採石場所により「寺沢石・天王寺石・岩原石・岩本石・中野石・雨乞山石・桜田石」と呼ばれ、石材の特徴やその用途は多彩である。

このように古くから石材に恵まれた地域であったことから、生活の中に自然に利用されており、木々や農作物の緑の中にみられる白い石蔵・石塀・石垣・野仏等々は国本を代表する景観である。

今般「徳次郎石研究会」のご配慮で「新里石などの国本地区の採石場」を紹介することとなった。



写真1. 寺沢石の蔵と景観

1. 地質

太古関東海の一海底なりし我が村、当時生成されし古生層粘板岩を鞍掛山に露出す、此れ古賀志方面より我が村北境に入りて止む所なり。この付近断層砕礫により更に形成されし角礫石を小部分ずつ諸所に出す。

第三紀に於いて日光連山の噴火する火山灰は、当時海底なりし我が村及び近村一帯に沈降し凝灰岩となり、現在に於いて岩本・岩原に大谷方面より続くもの露出し良石材として数箇所にて多数採掘さる。

（国本村誌より転記）

2. 国本地区の岩石

(1) 地区北西部丘陵の表面に分布する岩石

- 新里丙（三区）天王寺区付近・・・流紋岩火山礫凝灰岩・凝灰岩
- 土平山付近・・・・・・・・・・輝安山岩溶石・火砕石・貫入石（噴出岩）
- 雨乞山付近・・・・・・・・・・普通角閃岩ディサイト溶岩・貫入岩
- 鞍掛山・・・・・・・・・・層状チャート

(2) 石材として産出された岩石の特徴と用途

① 寺沢石・天王寺石（総称：新里石と称す）

約1600万年前に生成された凝灰岩で、新里乙・丙付近の山中から切り出された。

【特徴】大谷石より石目が細かく白く、ミソなどの不成部分が無い。

- 【用途】
- 1 建造物・・・建物の外壁・石屋根・塀
 - 2 構造物・・・橋・土留・塀
 - 3 工芸品・・・祠・鳥居・燈籠・廟墓・石仏
- （採石時期は江戸時代から昭和30年代）



写真2. 寺沢石の廟墓

② 岩原石

約1500万年前、大谷石と同時代に生成された凝灰岩で岩原町内から切り出されている。
かつては地上に露出した岩山から採石されていたが、昭和年代になり地下から採掘されるようになる。
採石時代の始まりは江戸時代、農間渡世として始まる。現在は、一採石場が稼働している。
(江戸時代の領地支配は宇都宮藩領、大谷は旗本三枝氏の所領)

【特徴】大谷石より硬くミソがやや多い。

【用途】主に石塀、土留などの外構材に使用された。

③ 岩本石

大谷石と同時代に生成された凝灰岩で、新里町(丁)岩本山から切り出された。

採石時期は江戸時代(最も盛んな時期は嘉永年間)から、平成初頭であった。

【特徴】大谷石より硬くミソなどの不成部分が少ない。

【用途】主に石塀や基礎石などに使用された。

岩本山は宇都宮城主の御用採石場(御止山)として石材を採掘し宇都宮城築城の土台石として使用したと言われる。



写真3. 岩本石の石垣

④ 中野石

新里町甲(1区)中野地区の山中から切り出された凝灰岩。

【特徴】大谷石に比べ全体的に緑掛かっており耐火・耐震・防湿に加え石肌が細かく変色が少ない。

- 【用途】
- 1 建造物・・・倉蔵・住宅・店舗
 - 2 構造物・・・石塀・門扉・壁材
 - 3 土木用材・・・住宅造成・石垣

特に代表する使用例として、東京の明治神宮の造営(大正5年(1916)から同9年(1920))に際し建造物の土台として使用されたと言われる。

採石時期は江戸時代後期から昭和30年代



写真4. 中野石の石蔵



写真5. 中野石に混じる礫

⑤ 雨乞山石

新里町甲(1区)雨乞山の山中から切り出された凝灰岩。

【特徴】この岩石は雨乞三影と言われ建築石材として採掘された。第二次の栃木県庁建築に際し建造物に使用されたと言われる。

⑥ 桜田石

新里町甲(1区)桜田地区の山中から切り出された凝灰岩。

【特徴】中野石に準じる。



写真6. 桜田石の貼石蔵

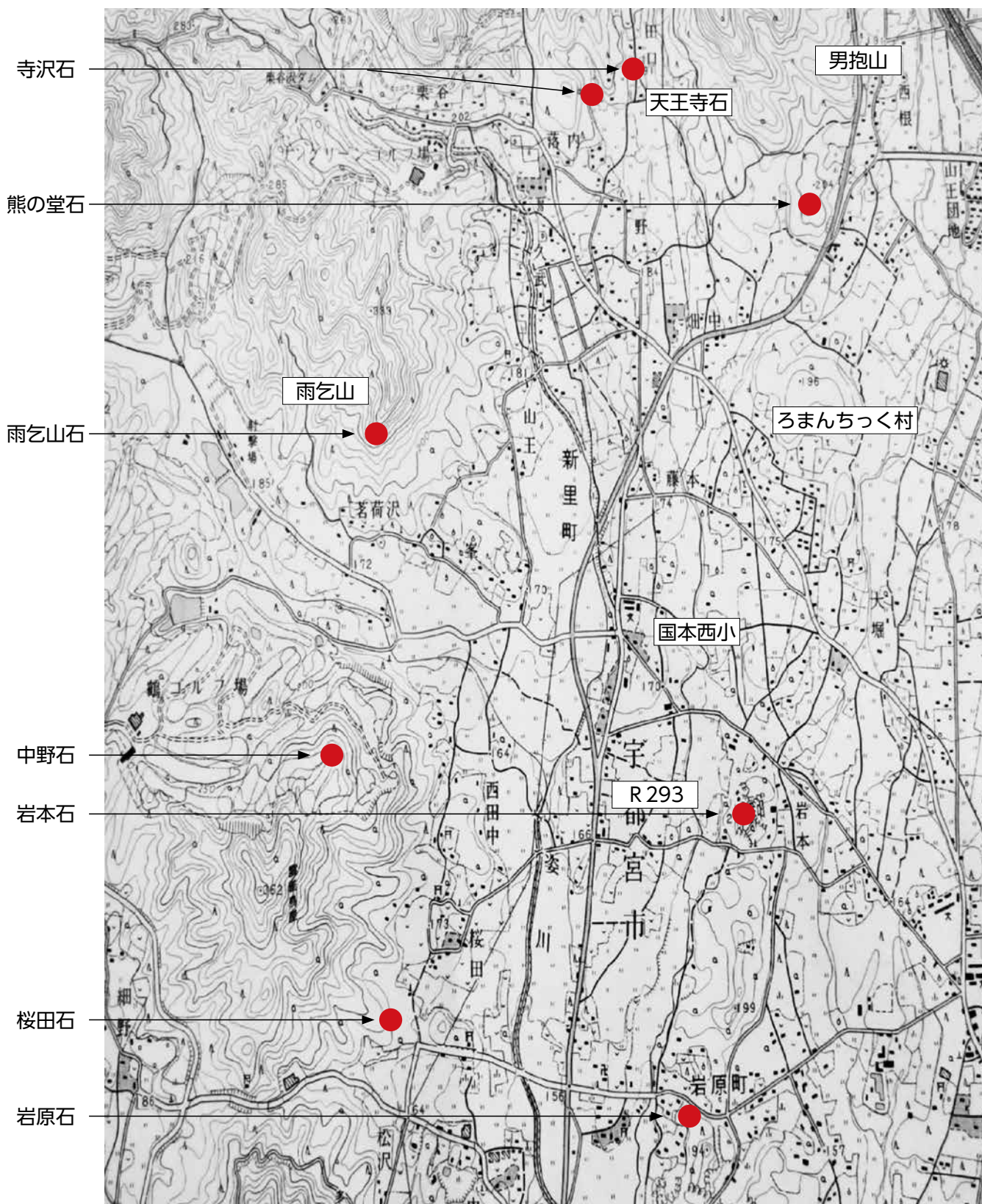


図 1. 国本地区の採石場と石材名